

進捗状況

1.ガバナンスの改革と推進

- コンプライアンス意識とガバナンスの浸透を目的とし、重要リスクの一つとして「ソフトウェアライセンス」をテーマとした事例研究会を実施中(1.(1)-b, 1.(4)-b)
- ビデオメッセージにてトップメッセージを全社に配信(1.(3)-a)

2.リスク管理体制の強化

- 2024年3月期 リスク管理に係る基本方針および年間活動計画に基づき、部門CRO（本部単位のCRO）やリスク主管部門（第1.5ライン、第2ライン）との連携も図りながら各種施策推進に着手（2.(2)-c）
- 内部統制強化協議会との連携は、同協議会を再編し2022年4月に設置したガバナンス・企業文化諮問委員会との間で連携を継続(2.(2)-e)

3.業務執行に係る体制及び社内体制の強化

- 業務執行体制強化のため会議体の見直しを実施。中期経営計画および本部・子会社戦略の執行推進を目的に、従来の本部長会議を中計推進会議に発展。また、内部統制システムの整備・運用に関する重要課題を重点的に推進する業務統制会議を新設(3.(1)-a, 3.(2)-a)

4.監査体制の抜本的な見直し

- 2024年3月期 内部監査方針・計画に基づき、組織別内部監査、フォローアップ内部監査を実施中(4.(1)-b)
- 2023年3月期 内部監査結果事例集を編纂し全社公表を実施(4.(1)-b)
- 2023年3月期 JSOX評価が完了し、6月23日に内部統制報告書を関東財務局へ提出予定(4.(3)-b)
- 2024年3月期においても監査等委員会施策である、取締役・内部監査室との定期意見交換、不正事案に対する研修への参加を継続的に対応中(4.(4)-a/b/c)

5.従業員の声を集める仕組み

- 匿名でも双方向のコミュニケーションを可能とする「内部通報プラットフォーム」の本番運用を開始し、従業員からの通報・相談へ対応中(5.(1)-a)
- 第三者を窓口とする目安箱について、機能と役割を再定義し、課題を効果的に抽出するための改善案を策定。運用開始に向け準備中(5.(2)-a)

6.組織文化の改革・形成

- 2024年3月期の企業文化改革活動メンバーによる施策検討を開始(6.(2)-a)
- 新理念体系を踏まえた行動宣言をもとに上司と個別面談（One On One）を継続して実施(6.(2)-e)

7.会計リテラシー教育及び過去不祥事からの学び、啓蒙

- 2024年3月期の会計リテラシー向上・会計知識教育の計画を策定中。STEP2までの内容を受講していない受講対象者は教育を開始(7.(1)-a)
- 失敗事例からの学びに関する業務ルール説明会やワークショップ、失敗事例の共有を継続して実施(7.(3)-a)

8.モニタリング体制の継続

- 継続的な内部統制システムの強化に向け2024年3月期における調査計画を策定。6月より実施計画に沿ってヒアリングを開始(8.(2)-a)